

成人用肺炎球菌ワクチン定期接種について

平成 26 年 10 月より定期接種となります。

現在、70 歳以上の方を対象に助成を行っていますが、定期化に伴い 10 月からは下記のいずれかに該当する方のみ、接種対象になります。

平成 26 年度の接種対象者

- 60 歳以上 65 歳未満の者であって、心臓、腎臓若しくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルス (HIV) による免疫の機能に障害を有する方
- 今年度 65, 70, 75, 80, 85, 90, 95, 100, 101 歳以上になる方

年齢	対象生年月日
65 歳	昭和 24 年 4 月 2 日生～昭和 25 年 4 月 1 日生の方
70 歳	昭和 19 年 4 月 2 日生～昭和 20 年 4 月 1 日生の方
75 歳	昭和 14 年 4 月 2 日生～昭和 15 年 4 月 1 日生の方
80 歳	昭和 9 年 4 月 2 日生～昭和 10 年 4 月 1 日生の方
85 歳	昭和 4 年 4 月 2 日生～昭和 5 年 4 月 1 日生の方
90 歳	大正 13 年 4 月 2 日生～大正 14 年 4 月 1 日生の方
95 歳	大正 8 年 4 月 2 日生～大正 9 年 4 月 1 日生の方
100 歳	大正 3 年 4 月 2 日生～大正 4 年 4 月 1 日生の方
101 歳以上 (平成 26 年度のみ)	大正 3 年 4 月 1 日以前の生まれの方

接種について

接種期間	平成 26 年 10 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日
接種回数	1 回
自己負担額	接種総額から公費負担額を差引いた、 残りの額 (自己負担額は、医療機関によって異なります。)

注意

- 定期接種の接種機会は生涯を通じて1回のみです。
- 過去に肺炎球菌ワクチン(ニューモバックス)の接種を受けたことがある方は対象外となります。(山都町では当ワクチンの助成制度を実施していましたが、助成制度を利用された方は定期接種の対象外となります。)
- 27 年度から 30 年度までは毎年その年度に 65、70、75、80、85、90、95、100 歳になる方のみ対象となります。対象年齢以外の方が接種される場合は、任意接種となり全額自己負担となります。
- 31 年度より、新たに 65 歳になる方のみ定期接種の対象となります。
- 定期接種が始まるまでは、今まで同様 70 歳以上の方に生涯で 1 回に限り、一部助成を行います。接種を希望される方は健康福祉課で申請をして下さい。
- 接種対象者が自らの意思で接種を希望していることを確認できない場合、接種ができません。

水痘ワクチン定期接種について(平成26年10月～)

	標準的	経過措置(平成 26 年度限り)
対象者	生後 12 月から生後 36 月に至るまでの間にある者	生後 36 月から生後 60 月に至るまでの間にある者
接種回数	2 回	1 回
接種期間	生後 12 月から生後 15 月に至るまでに初回接種を行い、追加接種は初回接種終了後 6 月から 12 月に至るまでの間隔において 1 回行う。	平成 26 年 10 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日までに 1 回
自己負担額	なし	
その他	○既に水痘に罹ったことがある者は接種対象外とする。 ○任意接種として既に水痘ワクチンの接種を受けたことがある者は、既に接種した回数分の接種を受けたものとみなす。	

※接種をご希望の方は、10 月 1 日以降に予診票を発行しますので、**母子手帳を持って**各保健センターへお越しください。1 歳未満のお子様については、赤ちゃん訪問や健診等で予診票をお渡しします。

問い合わせ先

- 矢部保健センター (山都町矢部保健センター千寿苑内) 73-1600
- 清和保健センター 82-2900
- 蘇陽保健センター (蘇陽総合支所健康福祉課内) 83-1111

自然の中で豊かに育つ子どもたち その 56

矢部郷自然観察会 代表 藤吉 勇治



山都町には、かつて「キツネ先生」と呼ばれた先生がおられた。名前は中園敏之先生(現在、菊陽町で「九州自然環境研究所」を開いておられる)。矢部高校や蘇陽高校に勤務されながら、キツネの研究を続けられた。中園先生と私が、キツネ調査で体験した不思議な話を、今号から 3 回に亘って紹介する。



動した機会に、中園先生のキツネ調査を手伝わせてもらった。その頃、中園先生は、学校の勤務が終わると、ほぼ毎日キツネの調査に出かけられていた。キツネに発信器のついた首輪を取り付け、電波を頼りにキツネの行動を調べた。私も一日置きくらいに調査に行っていた。そして、月に一度は、週休日に 24 時間調査が実施された。キツネについての聞き込み調査も行われていた。地元の人達から、キツネにばかされた話を聞くこともあった。例えば、「宴会の帰り道に、気がついたら田んぼの中に寝ていた。」などの話があったが、どうも酒を飲んだときの失敗が、キツネの仕業にされていたようであった。ところが、ある日、私たちはとても不思議な体験をした。梅雨の終わり頃であったろうか。この日も、中園先生の調査に同行して 24 時間の追跡調査をしていた。この頃は、数頭のキツネに発信器が付けられており、電波を受信してそれぞれのキツネの位置を地図上に記録しながら、原野を車で移動するのだ。この日、ある一頭のキツネの電波をキャッチした。(次号に続く)



「キツネにばかされた?話 (その①)」
日本におけるキツネの研究の第一人者が中園先生である。中園先生がキツネ研究のフィールドにされたのは、旧矢部町だ。今から 40 数年前、中園先生は、野生動物の行動調査として新しい手法であった「ラジオテレメトリ法」を使って調査研究を進め、キツネの社会構造を明らかにされたのだ。今から 36 年前になるが、私は、矢部高校で中園先生と同

山都警察署・署協議会だより

山都警察署 TEL72-0110



犯罪

刑法犯多発中

～とにかくカギ掛け!～

刑法犯は、本年 6 月末現在、27 件(前年同期比+7 件)発生するなど、増加傾向にあります。特に目立つのは、暴行や器物損壊、オートバイ盗(施錠なし)、器物損壊、車上ねらい等です。

外出する際は必ず戸締りをし、短時間でも自動車や自転車から離れる際は、必ずカギを掛けましょう。

警察署では、右表の「不審者(車)すぐメモ帳」を全世帯に配付します。電話の近くや玄関にボールペンと一緒に置いていただき、不審者等を見かけられた場合、同メモ帳を活用し、110 番通報、山都警察署へのご連絡をお願いします。

～あなたの目、あなたの耳が捜査官～

	21 年	22 年	23 年	24 年	25 年	26 年
年間発生件数	47	41	41	37	36	
上半期	28	20	19	24	20	27

<過去 6 年間の刑法犯の発生件数>



スーパーにおける防犯活動



交通事故

減少傾向も油断ならず

～速度の抑制が一番の鍵～

人身交通事故は、本年 6 月末現在 15 件(前年同時期-8 件)と昨年に比べ減少していますが、一歩間違えれば重大事故に繋がる可能性のある速度超過が原因の交通事故が発生しています。

特に国道 218 号、445 号において、直線からカーブに差し掛かる際、十分な減速をしなかったためにカーブを曲がりきれずそのまま路外に転落する事故が発生しています。

カーブに差し掛かる前は、必ず減速し、道路状況に応じた運転を心がけましょう。



保育園における交通安全教室

	21 年	22 年	23 年	24 年	25 年	26 年
年間発生件数	36(0)	45(2)	39(1)	35(0)	42(1)	
上半期	19(0)	26(1)	20(1)	17(0)	23(0)	15(1)

<過去 6 年間の人身事故発生件数※()内は死者数>